

## 令和4年度消費生活推進員 第3回活動報告書(12月～3月分)から

- 「消費者のつどい」はコロナ禍で、数年ぶりの開催ということだったので、参加できてよかった。  
各団体の方、それぞれ特色のある発表でした。地域の特色のある発表や地道にいろいろな活動に長く取り組んでいる団体など、興味のあるテーマがたくさんありました。その中でも、石川県生活研究グループ協議会の「冷凍食品に関するアンケート調査」がとても気になりました。昔は、冷凍食品を利用したり、食べたりすることに少し罪悪感がありましたが、今はどこの家庭でも頻繁に利用されていると思います。アンケートの調査も、たくさんのメーカーや、何に重点をおいて利用しているかなど参考になることが、たくさん調査されていて、私も今後買う時の参考にしたいと思いました。
- 今年度もコロナの感染拡大が少しずつ収まりつつありますが、自発的に活動できない状況です。知人に話を聞くと、コロナで家にいることが多くなり、誰も訪ねてこないと電話がなれば見知らぬ人と話し込んでしまうという人もいます。やはりさみしいからでしょうか。  
早く収束して外出し、皆とおしゃべりし消費者トラブルに巻き込まれないよう、お互いに注意しあうのが大切と思いました。
- 詐欺師かどうかわかりませんが、訪問買い取りの電話がよくかかるので、断る言葉ははっきりと言い、そのまま電話を切ることが大事だと高齢者の方々に注意を促しました。
- 婦人連絡協議会の消費生活改善研究発表会にて、特殊詐欺による被害の現状と対策について、寸劇と発表を120名参加の前でしました。また、福祉館にて還付金詐欺の寸劇をしました。
- 公民館にて、婦人会の参加者の方、約30名にリフォーム詐欺の寸劇をしました。
- 物価の高騰が家庭のやりくりを脅かしています。特に1月の電気代の請求が届いたときは本当にびっくりしました。我が家は大人ばかりの4人家族で、一人一人が自室を持ち、日頃から電気代は高いと思っていましたが、冬季の使用量の増加もあり、1万円を超える増額になっていました。自動引き落としのためあまり電気代を気にしたことはなかったのですが、改めて前月と比較をしました。家族と相談し、エアコンの設定温度、見ないテレビ、電気のつけっぱなしをお互いに消しあうこと、お風呂は続けて入ろうなどと話し合いました。この時、日頃からできることをしていなかったことに気づかされました。次月の請求では、節電の効果があり全体の使用量が減り、加えて国の光熱費負担軽減策が実施されたので、先々月の電気代より安く感じるくらいに金額が減りました。4月の電気代値上げも先送りになったとのことですが、値上げラッシュは今後も続き、年金暮らしの身としては生活が不安になります。2・3月は、国の「光熱費負担軽減策」についてできるだけ

多くの人にお話ししました。今後も消費者の不安に寄り添っているいろいろな情報を伝えていきたいと思っています。

- 手元に届いたチラシ、パンフレットを配りながら話すようにしています。資料が届いた時が、お知らせ時です。被害にあった人はいませんでした。みんな不安に思っています。いざという時のための相談窓口や「188」を知っておくだけで心強いと言っていました。「188」をもっとお伝えしたいと思います。
- 自宅電話をナンバーディスプレイにされている方が多く、「0120」からの電話にはでないようにしている話や、着物の不用品の買い取りの電話が多いという話をよく聞きます。「北陸電力」の電気料金見直しの電話も多いようです。「北陸電力」と名乗るけど、多分違うだろうと思って、途中で切る人が多いです。最後まで聞いたらどんな話をしてくれるのか興味があるし、知りたいところです。（被害にあわないためにも）
- 最近 LINE に「投資グループ」に勝手に参加させられることが続いています。私はブロックしたり通報したりしますが、スマホを高齢者も持ち、LINE は電話やメールよりも身近で多く利用するけれど、使い慣れていないことや LINE の内容を真に受けて、返信してしまう人、個人情報を送ってしまう人、送金してしまう人がいるのではないかと思います。SNS を通じた詐欺も広くお知らせする必要があると感じます。知っていれば、落ち着いて対処でき、被害にあわずに済むのではないのでしょうか。
- コロナで外出や行事イベントがすべて中止になり、心身ともに元気で楽しくなくなっています。デイサービス、サロンで目的に合わせたレクリエーションをし、対象者の皆さんと一緒に体を動かして楽しい時間にしたいと頑張っています。
- 昨年の特殊詐欺の県内の被害額が約 2 億 6500 万円と話すと「県内だけで？」と驚きの声がありました。還付金詐欺が多いこと、未だにオレオレ詐欺の被害もあることなどを伝えました。身近な人が被害に遭っていないのでピンとこないことが私も多いです。一緒に勉強する思いでいつもお伝えしています。
- 地域の公民館で毎週手話サークルを開いています。その機会を利用して、終了後の茶話会の時に、座談会形式で、体験したことを話題にすることにしております。最近は「くつを買い取ります」の話がたくさん出ており、本命はくつではなく貴金属なので、何人もの人が脅されたり、断ると怖い声や言葉など…悪質商法のやり方だから気を付けましょう。いざという時は、消費者ホットラインにすぐ連絡しましょう。と終わり、以前いただいた啓発グッズを配り、喜んでもらいました。これからも色々な体験談を話したり、聞かせてもらいながらお互いに気を付けていくつもりです。
- 8 年前に亡くなった母親宛に石川県警察本部より郵便が届いた。亡くなった人にどうして！と思いながら開封した。被害防止について（お願い）の文書だった。「昨年石川県で

特殊詐欺被害は82件被害額約2億6500万円。警察では被害防止の取組の一つとして犯行グループ等から押収した名簿に登載された方々に注意喚起を行っております」と書かれていた。以前から母親によく電話がかかってくるのが不思議でした。

先日も表示圏外とディスプレイに表示された電話に出ると若い男の声で「やっと電話にでてくれてありがとう」等々と話し始めたので、「どちらにおかけですか？」と言うと電話が切れた。もしかして国外からの電話かもと思いました。

- 中学生の授業で他の方々とご一緒させていただき、いろいろなカードについての注意の説明やトラブルロープレに参加させていただくことができました。少しでもいろいろなトラブルに巻き込まれないよう、啓発活動ができたと思います。
- 今年の2月に消費生活センターで成年年齢引き下げのお話を聞き、18歳で成人になるのかと少し不安に感じました。
- 市の食のイベントが4年ぶりに開催されることが決定し、市の消費者担当者と啓発活動を実施することが出来た。市内外の来場者にチラシの配布をした。
- コロナも収まりつつあり、地区へ回って出前講座で寸劇などする計画をしたが、実施は叶わなかった。来年度にまた検討することとした。
- 老人会等で難しい用語を使って説明するより、歌で啓発しています。そして必ず「消費者ホットライン188」と市の窓口のお知らせをしています。先月に3年ぶりのイベントで小雨の中、出店者や来場者に悪質商法や変な電話に対応しないですぐ切ってくださいね！と声掛けをしました。高齢化率50%の地区なので、まだまだコロナ感染に注意しながら、会にお邪魔している現状です。加えてインフルエンザも流行りだし、上手に付き合って啓発活動をしていかないとと思っています。
- 今年度もコロナ禍で、地域での集いや高齢者の活動に制限があり、講座の依頼もほとんどなかったですし、訪問することも控えてしまいました。今後は町内会、各種会合も徐々に活動再開されることを願い、消費生活情報の発信に取り組みたいです。
- 視覚障害者のグループの方々はラジオなどを通して、積極的に情報収集に努めていて驚きでした。チャイムが鳴ってもすぐには出れないこともあり、来客があるときやお弁当の配達があるときなど、カギを開けておくことがあると聞き、また参加者の一人が、知らない人が入り込んできて、盲導犬の声で気が付き、声を上げたところ逃げて行ったなどの話が出て、なんとかできないかと思った。
- 見守り情報をファイルに入れ、見やすくして、みんなに見てもらい注意喚起をした。
- 最近断捨離をはじめたのですが、一人暮らし、車は軽自動車ということもあり、大きい

もの、重いものを動かすだけでも大変で、そんなときに「何でも買います」と電話があったら「来て!」と言いたい自分がいます。今のところはそんな電話には「全部捨ててしまったところなんですよ!」と返事をしています。私のような人はたくさんいるのではないかと思うとしっかり注意喚起していきたいと思います。

- パネルシアターやパペット、シール貼りなど子ども達に色々な角度から「お金の大切さ」を伝えることが出来たと思う。
- 大人を対象とした消費者教育の最後に啓発グッズをお渡ししたところ、「いい話が聞けて啓発用品までもらえるなんて、またして!」とグッズ効果がありました。
- 出前講座等の寸劇においては、最近は詐欺の内容となっているが、来年度は消費生活における違うテーマにチャレンジするのもよいかと思います。
- SDGs については、自分自身も知識を知る機会ととらえると同時に小学生の子ども達への関心を深め、未来につなげるような活動を寸劇も交えてわかりやすく活動できるといいかなと思います。
- 低年齢の金融教育、お金のハテナ塾は例年通り年1回の講座を続けていき、楽しんで学習しながらお金の大切さを知らせたいです。
- 今年度の締めくくりに児童向け紙芝居「リサイクルってなあに?」の新作が完成し、市内学童クラブで発表、DVD 撮りも終え一安心といったところです。リアルに手作りした車の中から、ペットボトルがポイ捨てされるという絵面だけではなく、役柄も演じるなど、ちょっと変わったものになりました。SDGs を取り入れたアイデア満載といった出来栄に、メンバーのアイデアと行動力に関心しました。お披露目した学童クラブでは児童もメンバーも興奮し、大変楽しい時間でした。まずは大成功。この活動を今後も継続していきたいと改めて感じました。
- 日本全国で相次ぐ連続強盗事件や特殊詐欺がここ最近増えてきて、次々と逮捕者が出てきている。他の県のことかと思ったら、金沢や白山市の人だと報道されていて、驚いた。SNS で実行犯を募集し、ターゲットを決め、複数人で民家に押し入る手口だ。面倒な特殊詐欺なんかより効率がいいのだろう。とうとう詐欺から殺人にまで発展してしまいました。昔でいう追はぎ、山賊の部類だ。これではいくら消費者センターや推進員が頑張ってもターゲットにされたら防ぎようがありません。これまで通りの啓発活動をしながら、防犯の知識も加えた方がいいと思います。  
その他、インターネットでの「高額バイト」という単語やハッシュタグが付く、ツイターの投稿が何万件も見つかり、短期間に稼ぎたいとか、物を取りに行くだけとか、電話をかけるなどの簡単な仕事という受け子にならないための対策を考えねばならない時代に来たと思います。

- 町内回覧板に「マイライフ いしかわ」をお願いしています。
- 町内老人会ふれあいサロンで冊子『悪質商法に注意！「自分には関係ない」「自分は大丈夫」と思っていませんか』を用いて参加者と読み合わせを実施した。53名中32名参加。参加者から「瓦がずれているので、修理したほうが良い等、色々と言われたが、修理するなら近所の大工さんに頼む」と応対したところ帰っていったという経験談が紹介され、より一層の注意喚起ができた。当日参加できなかった方には、後日冊子を配布した。
- 市の消費生活センターから「消費トラブル見守り隊カレンダー」を75歳以上一人暮らしと70歳以上高齢夫婦のみの家を対象に配布した。対象者は年々増加し、全世帯の2~3割を占め、老人会に加入されていない方々が多数おられることを実感し、見守り連携の重要性を再確認した。安否確認などの個別訪問時には、消費トラブルの見守りも重要であると再確認した。
- 見守り新鮮情報の一部「高齢者とそのまわりの方に気を付けてほしい消費者トラブル10選」をコピーし、町内の各班に回覧した。
- 消費生活推進員として活動させていただき、自分が知らなかったことの多さを感じました。ほかの方の困りごとや、注意したら防げることなど、いろいろな方との会話や定期的に送っていただいた資料からの学びは多かったです。本当に行動してみないとわからないことが多かったです。コロナ禍で啓発活動は減っていましたが、その中でも自分なりに知人や町内会にお伝えしてきました。コロナがあり、本当に人と人のコミュニケーションの大切さ、周りの方との関わり方の大切さを感じた時でもありました。あれ、おかしいな？と思ったり、わからないことは、消費生活センターにお聞きする、このことを皆さんに知ってもらい、安心して生活が出来る地域を作っていけたら良いと思いました。短い期間ではありましたが、ありがとうございました。
- 老人会の総会で、悪徳商法についての話を皆さんでしました。自宅にかかってくる電話内容などについて話し、座談会のような形で進めました。
- 地区の健康体操のメンバーに「悪質商法に注意」のパンフレットと啓発用品を配布しました。
- 県から頂いたチラシとグッズを100歳体操の各会場へ持参し、気を付けるよう指示お知らせしました。
- 妹からスマホに詐欺まがいのメールが届いたと連絡がありました。留守だったらメモを置いていくはずと思い、返信しなかったそうです。いつも私が言っていることを思い出し、疑うことにしたと言っていました。

- 2か月くらいに1回、老人会運営のための班長会があるので、2年間は60人分の配布物を届けるつもりでいます
- お寺の涅槃会の行事にお参りされる方にパンフレット等をお配りしました。自分は大丈夫と思われている方が多く、注意してくださいと改めて声掛けしました。
- 2月に町の学習フェアがあり、町の担当者と一緒に声掛けやパンフレット等を配り、注意喚起しました。
- 一人暮らしの高齢者で集会等に来られない方に個別訪問し、電話でお金の話をしないこと！男性の履物を玄関の見える場所に置いておくこと！と注意喚起をし、「188」を周知した。
- 町内のサロンや高齢者宅に訪問の際に、消費者ホットラインのパンフレットと啓発グッズをお渡ししています。先日の町内のサロンでは、電気料金についての電話があったと話題にあがりました。あやしい電話ははっきり断ってくださいと話をしました。
- 町の健康教室とキッズの行事に誘っていただき、もう一人の推進員さんと啓発グッズを配布し、注意を呼びかけました。
- 中学生向けの講座実施にあたり、能登町のリーフレットが作成されており、毎年配布されてはいても詳しい説明等は聞いたことがないという中学生の言葉で、今回30分ですが仕事場の中学生対象に講座を実施しました。町担当者よりいただいたリーフレットはとても分かりやすく、説明もしやすかったです。リーフレットを配布されても、内容をしっかり読むことは少ないため、講座等を実施して、説明できる機会を増やしたいと感じました。特に、中学生向けの講座は実施したいと思いますが、時間をいただくことがなかなか難しいようです。